

現状の減災に係る主な取組状況について



よみガエルくん

平成 29 年 5 月 29 日

福岡・前原水防地方本部圏域

水防災意識社会再構築ビジョン協議会（仮称）

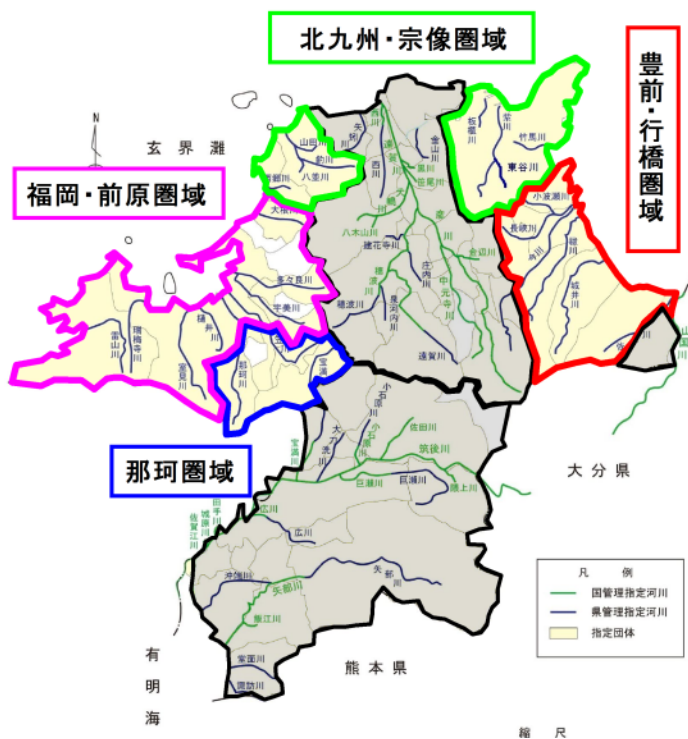
福岡水防地方本部圏域における河川の概要

福岡・前原水防地方本部圏域は、県の北西部に位置し、北部は福津市に接し、東部は三郡山地、南部は脊振山地に囲まれ、西部は玄界灘に面した沖積平野である福岡平野と糸島平野が広がっている。

本県の中でも、特に福岡平野においては、二級河川多々良川と那珂川という県内でも1、2位の流域面積を持つ河川をはじめ、古くから農業用水の水源として稲作文化とふかく関わっていたと考えられ、近年でも工業用水や上水道の水源として、福岡市の土台を築くなど大きな役割を果たしてきた。また、本圏域は流域の開発が進んでおり、特に福岡市には二つの大きな地下街を有するなど都市化が進んでおり、その周辺に位置する大野城市や糟屋郡なども、福岡市の経済圏として発展を続けている。

なお、本圏域における二級河川は、瑞梅寺川水系、室見川水系、那珂川水系、御笠川水系、多々良川水系などの19水系、64河川、管理延長約285kmである。

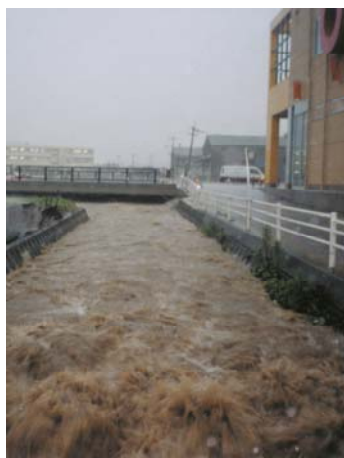
福岡県水防災意識社会再構築ビジョン協議会



福岡水防地方本部圏域における過去の出水被害の状況

発生年月	出水概要	降雨要因	水文状況	被害状況	河川
平成11年6月	平成11年6月29日梅雨前線豪雨によって303戸の浸水家屋被害が発生した。	梅雨	約160mm (累加雨量)	床上浸水 121戸 床下浸水 182戸	湊川
平成11年6月	低気圧が29日には対馬海峡を通過し、九州北部で梅雨前線の活動が活発となり豪雨となった。その為、博多区のビル地下で浸水により1名が死亡したのをはじめ、地下街が冠水するなど大きな被害が発生した。	梅雨	193mm (累加雨量)	床上浸水 1,098戸 床下浸水 1,478戸 死者 1名	御笠川
平成15年7月	宇美川上流域に位置する三郡山では、19日2時から6時にかけて、1時間に40mm以上の激しい雨が4時間も続いた。特に4時～5時の1時間雨量は101mmを記録し、これは1時間雨量としては昭和57年の観測開始以来史上最大の規模であった。	梅雨	393mm (累加雨量)	床上浸水 670戸 床下浸水 1,469戸	宇美川
平成15年7月	対馬海峡に停滞していた活発な梅雨前線の南下に伴い、18日夕方から19日朝にかけて記録的な豪雨となった。その為、19日早朝には御笠川などが氾濫し、各地で浸水被害が発生し、出水規模ならびに被害は平成11年6月出水を大きく上回った。本出水でもJR博多駅周辺が浸水し、再び都市型水害の脅威を見せつけられた。	梅雨	361mm (累加雨量)	床上浸水 2,312戸 床下浸水 1,923戸	御笠川
平成21年7月	平成21年7月24日、対馬海峡に停滞する梅雨前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、前線活動が非常に活発化した。25日には、梅雨前線活動がやや弱まったが、26日には九州北部地方に停滞する前線上に低気圧が発生し、再び活動が活発化した。柏原では1時間で91mmの記録的な豪雨となり、田島橋では、氾濫危険水位を0.94m上回る4.24mを記録した。	梅雨	283mm (累加雨量)	床上浸水 172戸 床下浸水 238戸	樋井川
平成21年7月	那珂川流域では、26日の午前中に集中豪雨が発生し、上流域に位置する小川内雨量観測所において、午前9時から12時の3時間に189mmという昭和48年の豪雨災害以来の記録的な降雨量が観測された。	梅雨	601mm (累加雨量)	床上浸水 93戸 床下浸水 208戸	那珂川

湊川
(平成11年6月)



宇美川
(平成15年7月)



御笠川
(平成15年7月)



那珂川・樋井川
(平成21年7月)



県管理河川の水防災意識社会再構築ビジョン協議会及び幹事会を設置

1. 県管理河川の水防災意識社会再構築ビジョン協議会の設置案

- 1) 構成員案：（県）出先事務所長、本庁関係課長
（市町村）市町村長
（気象庁）福岡管区气象台
（国：オブザーバー）関係直轄河川事務所
- 2) 組織：福岡県で4箇所
福岡・前原圏域（福岡市外2市7町）、豊前・行橋圏域（行橋市外1市3町）、
北九州・宗像圏域（北九州市外2市）、那珂圏域（筑紫野市外3市1町）
- 3) 検討内容：5年で実施する取組方針の策定
※方針の内容：目標、取組項目、目標時期、取組機関
- 4) 具体的な取組項目：地域ごとのハード対策の主な取組、ソフト対策の主な取組

2. 県管理河川の水防災意識社会再構築ビジョン協議会幹事会の設置案

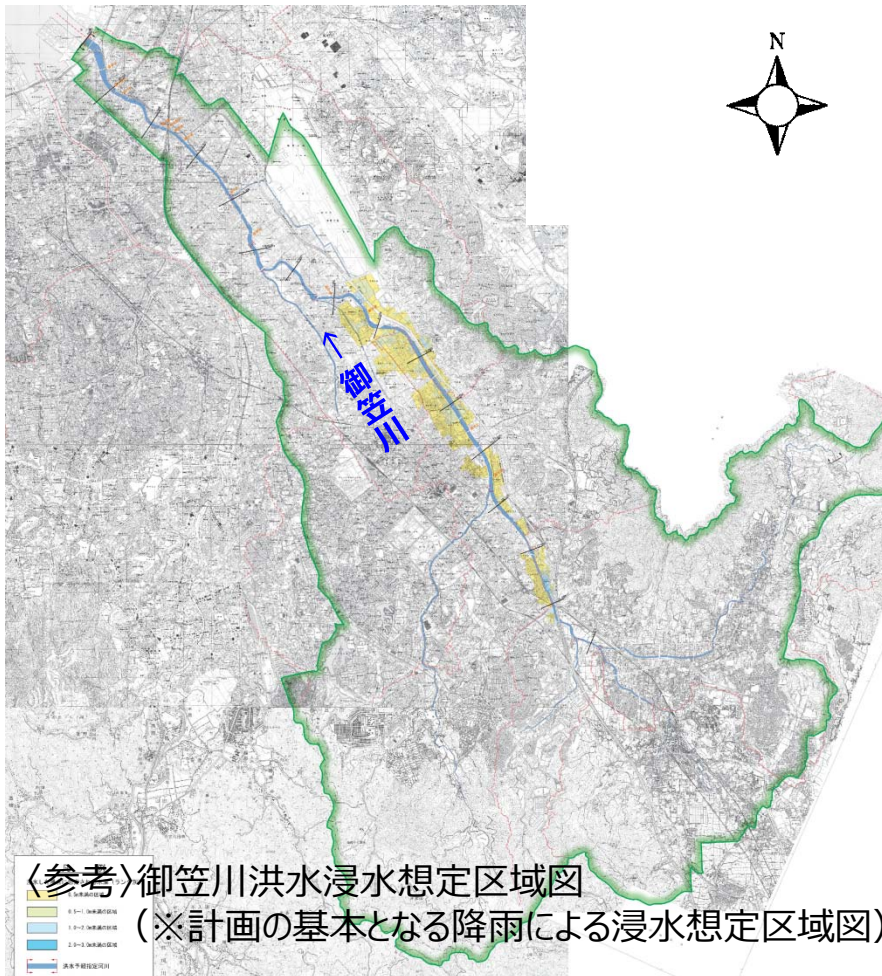
- 1) 構成員案：（県）出先事務所用地課長等、本庁関係課長補佐
（市町村）市町村水防防災担当課長
（気象庁）福岡管区气象台
（国：オブザーバー）関係直轄河川事務所
- 2) 組織：福岡県で4箇所（協議会と同じ）
- 3) 検討内容：5年で実施する取組方針案の策定



水害リスク情報等の共有（洪水浸水想定区域）

- 計画の基本となる降雨を対象とした洪水浸水想定区域を県のHP等で公表。
（公表URL：<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/sinsui-soutei.html>）
- 今後、**想定最大規模降雨**を対象とした洪水浸水想定区域についても順次作成を予定。

洪水浸水想定区域図の例



※ 洪水浸水想定区域の指定状況

御笠川、那珂川、多々良川、宇美川
樋井川、室見川、大根川、
雷山川、瑞梅寺川

洪水浸水想定区域は、河川管理者が作成し、

- 浸水想定区域
- 想定される水深
について公表。

水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保 2



水害リスク情報の共有

福岡圏域の県管理河川における水位計は35箇所、水位監視カメラを22箇所設置。

福岡圏域

福岡県の水位観測所 一覧表

河川名	観測所
1 御笠川	東大橋
2 御笠川	山王橋
3 御笠川	隅田橋
4 御笠川	筒井橋
5 御笠川	落合橋
6 高尾川	水道橋
7 那珂川	下日佐
8 那珂川	塩原
9 那珂川	轟橋
10 多々良川	雨水橋
11 多々良川	上町
12 多々良川	今石橋
13 多々良川	向川原
14 多々良川	金川橋
15 猪野川	猪野
16 宇美川	片峰新橋
17 樋井川	田島橋
18 釜見川	橋本橋
19 宝満川	御笠橋
20 山口川	針摺東
21 大根川	庄橋
22 宝満川	下見橋
23 瑞梅寺川	池田
24 雷山川	潤橋

福岡市の水位観測所 一覧表

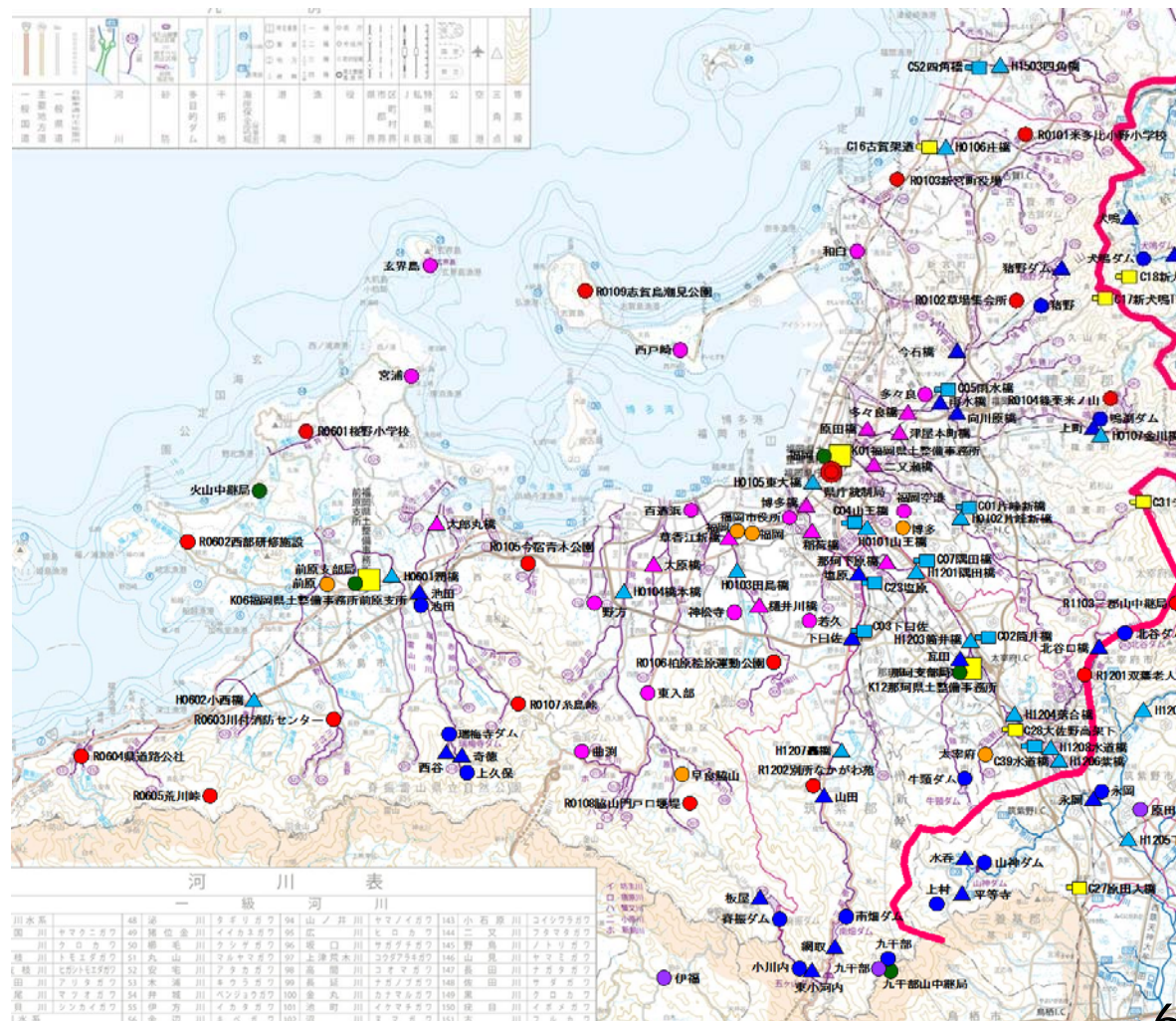
河川名	観測所
1 宇美川	二又瀬橋
2 那珂川	稲荷橋
3 須恵川	原田橋
4 諸岡川	那珂下原橋
5 金屑川	大原橋
6 瑞梅寺川	太郎丸橋
7 博多川	博多橋
8 多々良川	多々良橋
9 須恵川	津屋本町橋
10 樋井川	草香江新橋
11 樋井川	樋井川橋

福岡県の水位監視カメラ 一覧表

河川名	施設名称
1 多々良川	雨水橋
2 宇美川	片峰新橋
3 御笠川	山王橋

福岡市の水位監視カメラ 一覧表

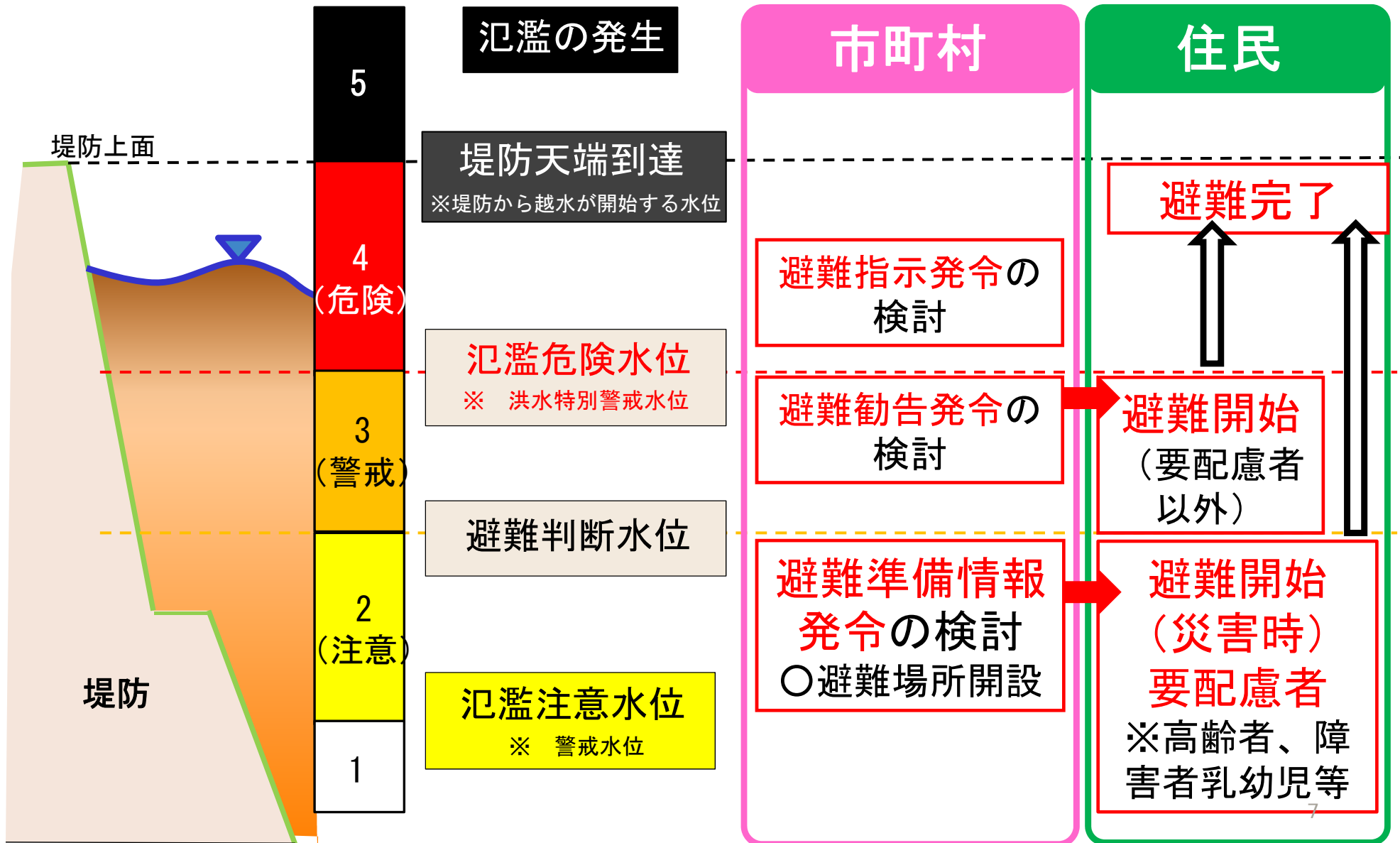
河川名	施設名称
1 御笠川	那珂大橋
2 御笠川	東光橋
3 那珂川	稲荷橋
4 多々良川	多々良橋
5 宇美川	田富橋
6 宇美川	二又瀬橋
7 樋井川	樋井川橋
8 樋井川	田島橋
9 樋井川	草香江新橋
10 室見川	室見橋
11 須恵川	津屋本町橋
12 須恵川	原田橋
14 綿打川	綿打橋
15 諸岡川	那珂下原橋
16 博多川	博多橋
17 金屑川	大原橋
18 瑞梅寺川	太郎丸橋
19 坊主川	石釜





確実な避難勧告等の発令に対する支援

水位周知河川では、避難勧告等の発令判断の目安となる氾濫危険水位到達情報等の発表を実施しています。



水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保 4



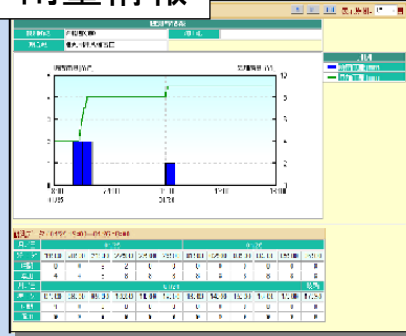
雨量・水位、河川監視カメラ等のリアルタイム情報を配信しています
パソコン、携帯電話から閲覧できます。

トップページ

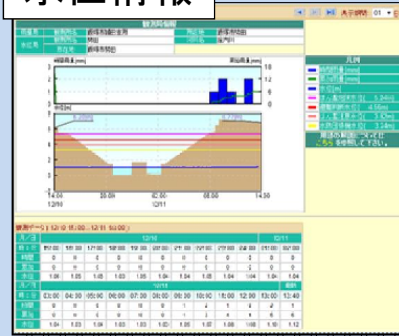


河川の観測局やダムに関する情報が取得可能

雨量情報



水位情報



ダム情報



河川監視カメラ



避難等の行動のきっかけとして、登録ユーザに対して、
河川の水位・雨量の基準値
超過情報や気象情報、避難勧告
などをメールでお知らせします。

ホームページ

(PC版) <http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>

(携帯版) <http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/>



防災情報等メール配信システム **さらにパワーアップ!!**

防災メール・まもるくん

地震・気象情報
NEW
徘徊・行方不明者情報
注意報
警報
避難情報

災害時の情報等をメールであなたにお知らせします!!

- 電線注意情報
- 光化学オキシダント、PM2.5情報
- 土砂災害警戒情報
- 避難所開水水位到達情報
- 地震・津波情報
- 福岡県市高速道路の通行止情報
- 避難所開水時の被災情報

登録者増加中!

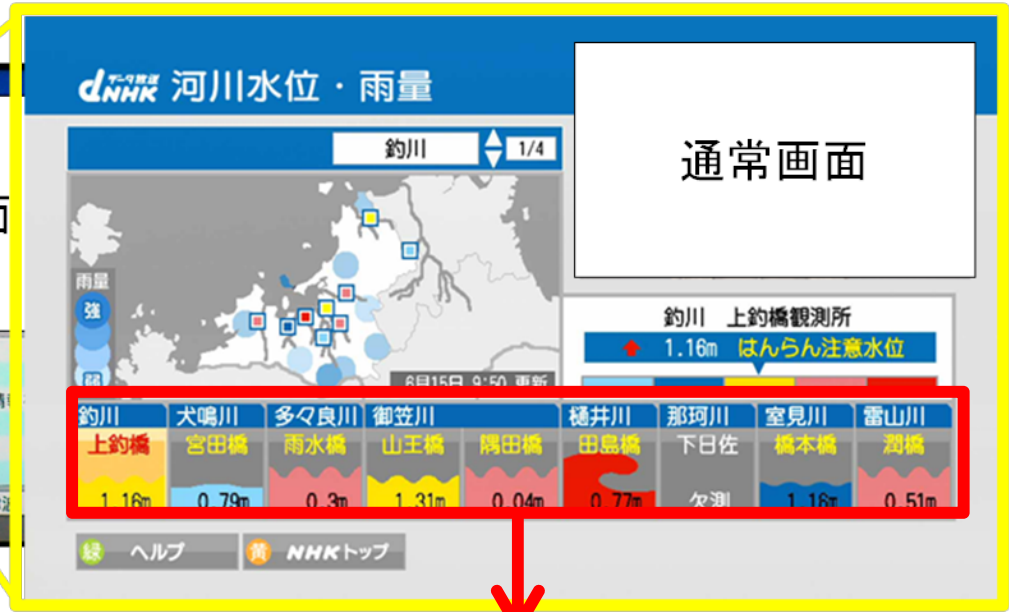
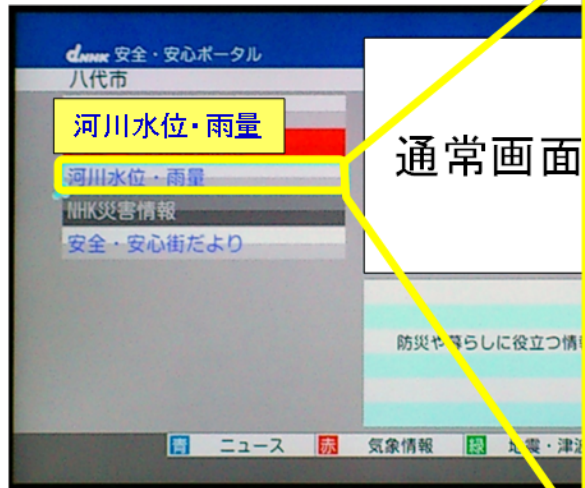
メール登録無料
mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
ご自身のアドレスからも登録できます。
<http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp>

水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保 5



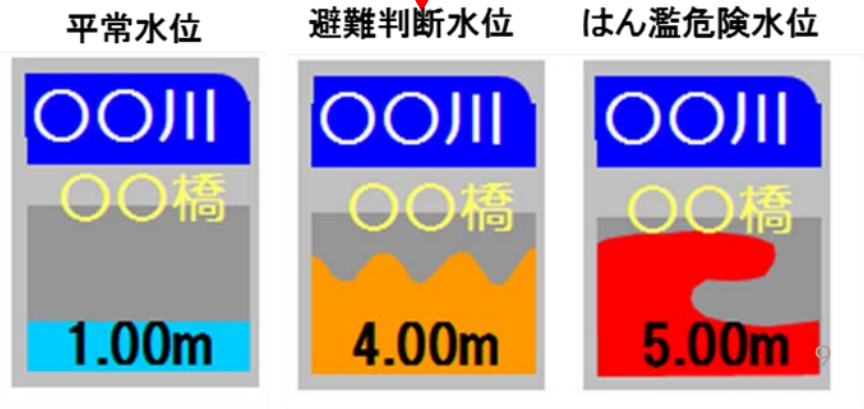
NHK総合等の地上デジタル放送（データ放送）にて河川の水位・雨量情報を提供しています。自宅のテレビで、いつでも手軽に河川の水位・雨量の防災情報を入手することが可能です。

dボタン



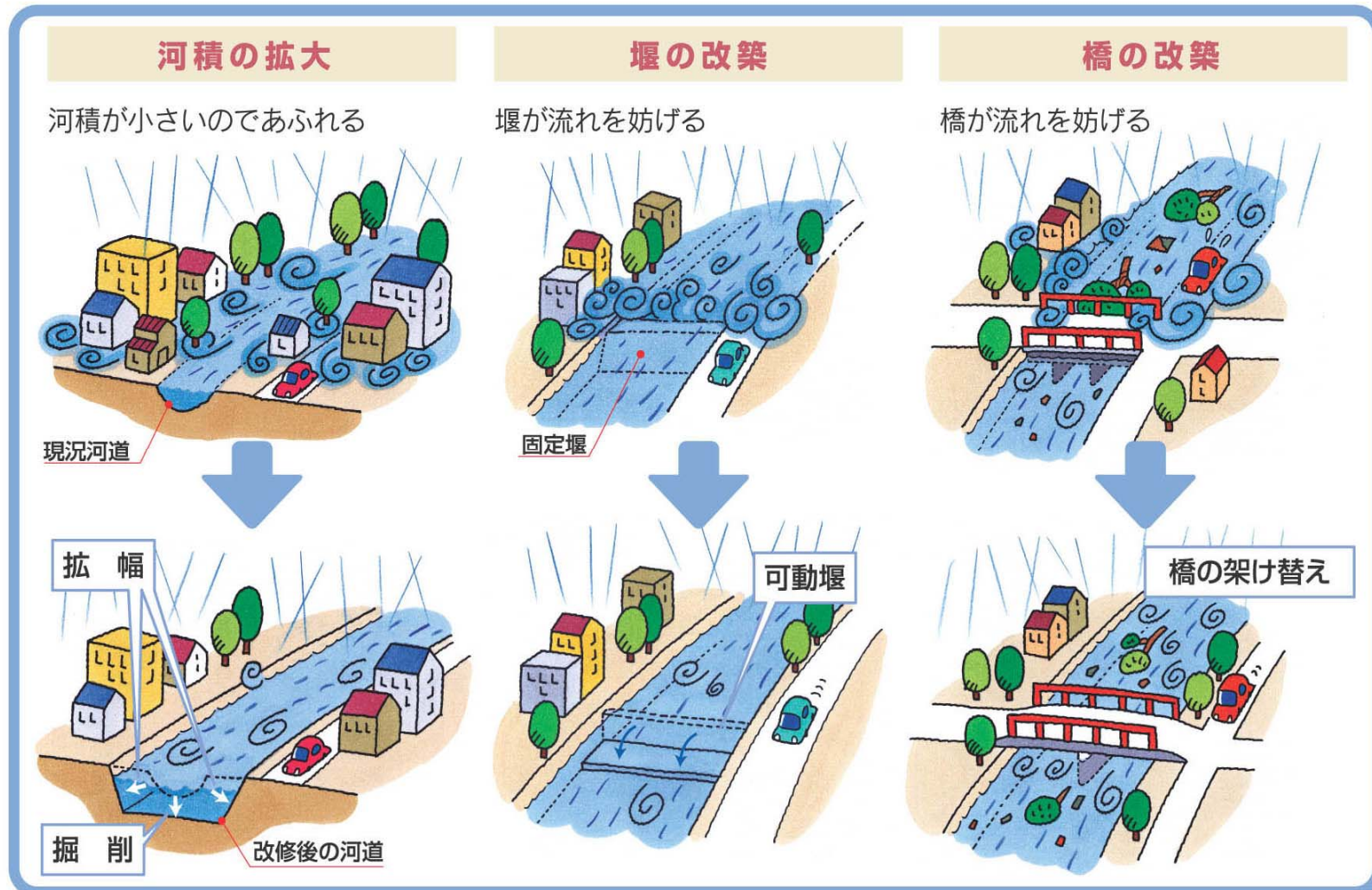
水位表示凡例

氾濫危険水位	避難勧告の目安となる水位
避難判断水位	避難準備・高齢者等避難開始の目安となる水位





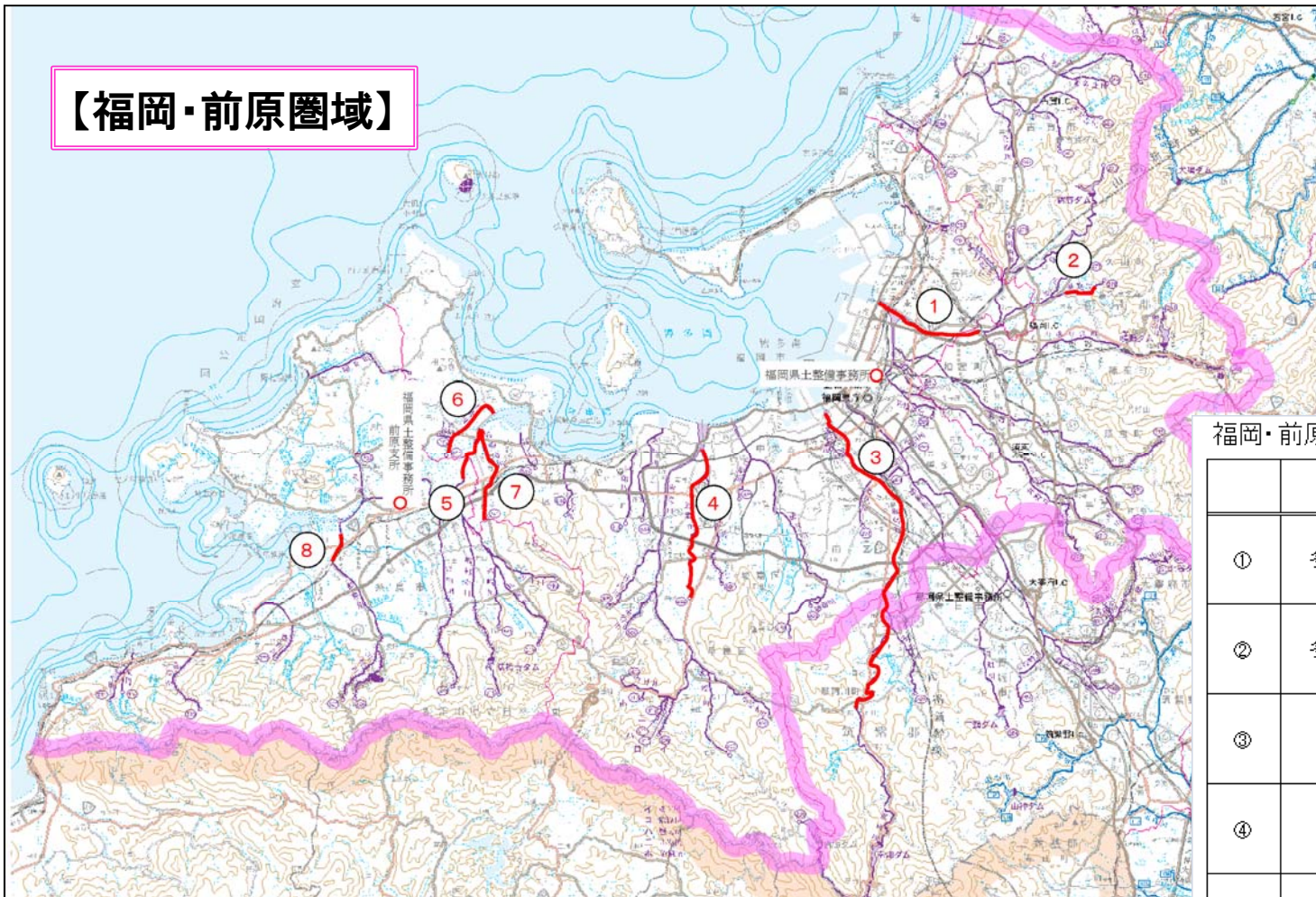
河川改修は、過去の浸水被害・流域の家屋などの集積状況や人口などを勘案し、改修の優先度が高い河川から実施しております。



【図：河川改修事業の主な改修メニュー】



【福岡・前原圏域】



福岡・前原圏域 主要河川改修事業実施箇所

福岡県管理河川

	水系名	河川名	全体延長(m)	実施内容	摘要
①	多々良川水系	多々良	5,000	掘削、築堤、護岸、橋梁・堰改築等	
②	多々良川水系	新建川	1,809	掘削、護岸、橋梁・堰改築等	
③	那珂川水系	那珂川	3,200	掘削、築堤、護岸、橋梁・堰改築等	
④	室見川水系	金属川	8,415	掘削、護岸、橋梁・堰改築等	都市基盤事業(福岡市)
⑤	瑞梅寺川水系	瑞梅寺川	2,330	掘削、築堤、護岸、橋梁・堰改築等	
⑥	瑞梅寺川水系	水崎川	3,810	掘削、築堤、護岸、橋梁・堰改築等	都市基盤事業(福岡市)
⑦	瑞梅寺川水系	周船寺川	4,580	掘削、築堤、護岸、橋梁・堰改築等	都市基盤事業(福岡市)
⑧	雷山川水系	長野川	900	掘削、築堤、護岸、橋梁改築等	11

※ 交付金事業のみ抜粋

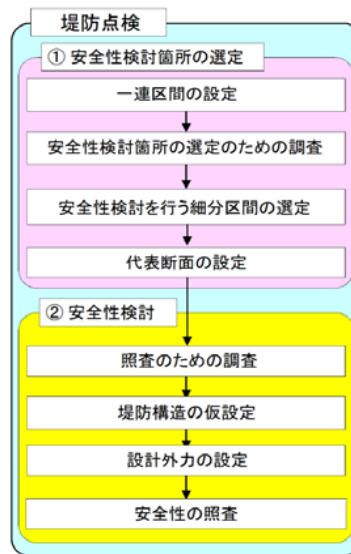


河川堤防の堤防強化対策

- 洪水により堤防機能を喪失または低下することを回避するため、浸透や侵食に対する安全性の調査を実施。
- 「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入。堤防天端を舗装により保護し粘り強い構造の堤防を整備。

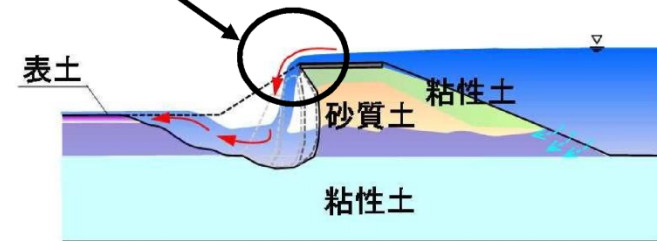
河川堤防の耐浸透調査

○雨による増水により河川の水位が高い状態が長時間続くと外水が堤防内へ浸透し、破堤等が発生するおそれがあることから、浸透に対する堤防点検を実施

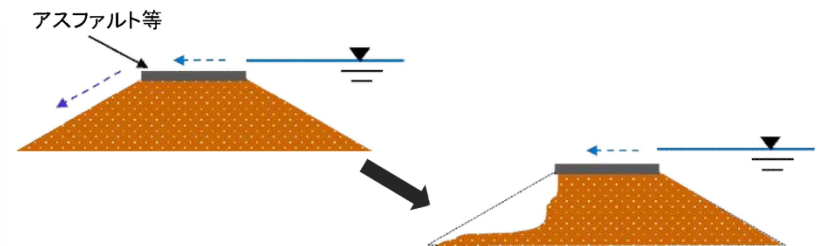
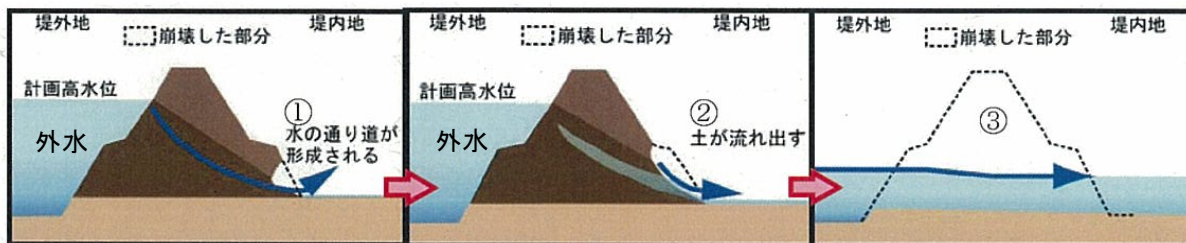


堤防天端の保護

○ 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



※浸透による堤防破壊のイメージ図





的確な水防活動に資する情報の共有

毎年、出水期前に福岡県福岡県土整備事務所及び同前原支所は、管内市町・消防機関等と重要水防箇所での合同巡視を行うと共に、水防資機材の確認を行っています。

水防倉庫



水防演習



重要水防箇所の点検





災害復旧実務者の育成活動

- 迅速な災害復旧のため、出水期前に実務者に対し講習会や研修を実施。
- 研修では、現地調査から査定設計書の作成、さらに模擬査定の演習を行い、災害復旧実務の流れを習得しています。

ブロック講習会



災害復旧実務研修



災害復旧実務講習会





- 災害に備え、平常時から地域で協力・援助体制を確立する方法や、災害時に要配慮者を安全に避難誘導する方法などを分かりやすくまとめた防災啓発パンフレット「みんなでつくろう災害に強いまち」を作成し、地域住民等に配布しています。
- 「福岡県避難行動要支援者避難支援事業」、「福岡県自主防災組織リーダー研修会」、「福岡県地域防災シンポジウム」、「ふくおか県政出前講座」などを通じて、防災情報の入手方法、自助・共助の重要性、自主防災組織の活性化などの理解を深める講演や災害図上訓練を実施しています。

福岡県避難行動要支援者避難支援事業



福岡県自主防災組織リーダー研修会



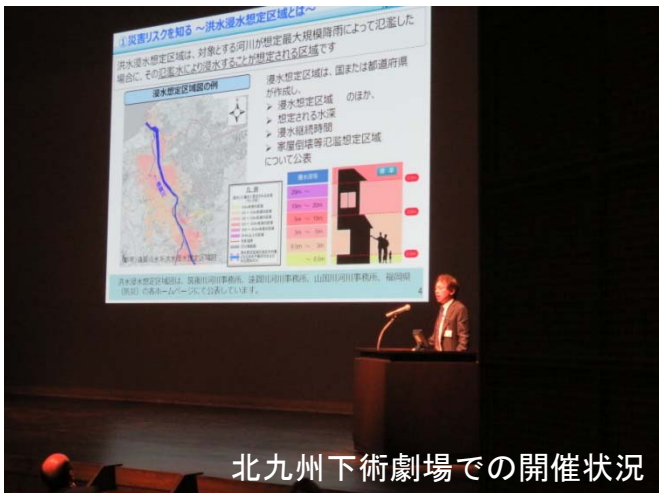


要配慮者利用施設における確実な避難（施設管理者等の理解促進）

- 水害時の避難に関する理解を深めるため、施設管理者を対象とした防災情報等に関する説明会を関係機関と連携して実施
- 今後も、関係機関と連携し、理解促進のための取組を実施予定



福岡市民会館での開催状況



北九州下術劇場での開催状況

◆説明内容

1. 防災気象情報について（福岡管区気象台）
2. 水害に備えて（九州地方整備局）
3. 土砂災害に備えて（福岡県砂防課）
4. 避難計画について（福岡県消防防災指導課）

◆開催日時、参加施設数

開催日時	開催地区	開催会場	参加施設数
平成29年1月26日	北九州	北九州芸術劇場	206 施設
平成29年1月31日	筑後南部	大牟田文化会館	200 施設
平成29年2月 1日	福岡	福岡市民会館	260 施設
平成29年2月 2日	筑豊	飯塚コスモスコモン	220 施設
平成29年2月 7日	筑後北部	ピーポート甘木	179 施設



【減災に向けた県内市町村の主な取組事例】

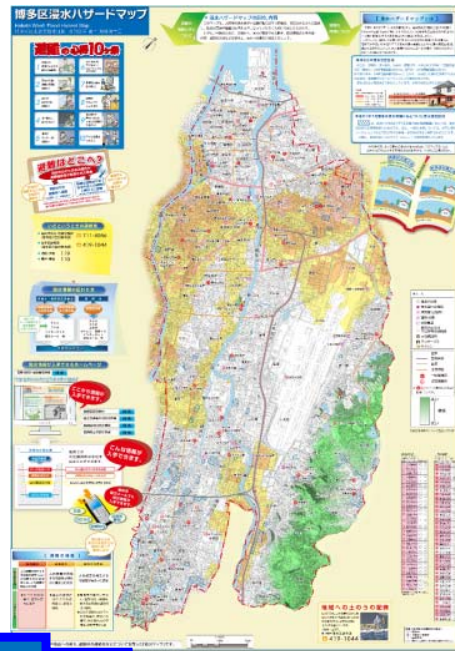
- ◆ハザードマップの周知や避難場所の指定、様々な防災情報の発信を実施
- ◆出水期前には、河川管理者、水防団と合同で現地確認を実施し、水防活動に資する情報を共有
- ◆防災意識の啓発のため、パンフレット配布や住民参加型の防災訓練を実施

洪水ハザードマップの作成・周知

◆洪水ハザードマップによる日頃からの備え

洪水ハザードマップに記載されている主な内容

- ①洪水浸水想定区域
- ②防災情報の伝わり方等
- ③避難場所
- ④行政機関の連絡先



広報誌への掲載、ホームページ掲載、全戸配布などにより、住民への水害リスク情報の共有

自主防災組織の活性化などの理解を深める取組

◆防災講演会

- 自主防災のポイントを学習
 - ・地震や風水害などに関する基礎知識
 - ・過去の災害事例をもとに、自助・公助の重要性



◆避難ルートマップづくりと実施訓練

- 住民が「安全な避難」を協議
 - ・地域の危険箇所や避難に役立つ内容等もマップに記載
 - ・実際に避難訓練を実施



自主防災組織の立ち上げ

